

## 演題：ポストコロナ時代における「他者との出会い」 —モビリティーズ研究の観点から

世界保健機関（WHO）が2020年1月30日、新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受けてパンデミックを宣言してから早くも3年半の月日が経過しました。現在は一見、コロナ前の社会状況に戻りつつあるように見えますが、3年以上にわたる移動・交流の制限は私たちのその後の社会行動のあり方に大きな影響を及ぼしていると思われます。この講演では、パンデミックの前とそれ以後の移動・交流の様態をモビリティーズ研究の知見を参照しながら比較することで、ポストコロナ時代において私たちの社会が直面するであろう人間関係に関するリスクについて考えます。

講演の前半部は、ジョン・アーリたちのモビリティーズ研究を踏まえつつ、ICTの発達とツーリズムの活発化の関係について、ウェブ空間と現実空間の融合という「拡張現実化」の観点から概説します。

講演の後半部では、パンデミック時に緊急避難として始まった現実空間からウェブ空間への一時退避が、その後私たちのコミュニケーションや他者関係にどのような影響を及ぼしつつあるのかについて考えます。特にメタバースのような「もう一つの現実」の可能性に焦点を当て、ウェブ空間への依存を深めることが私たちの他者関係やリアリティのあり方にどのような問題を引き起こすのか、皆さんと考えたいと思います。

日時

2023年9月2日(土) 13:15～14:30

会場

放送大学北海道学習センター 6階 大講義室  
住所：札幌市北区北17条西8丁目  
北海道大学情報教育館 6階

講師

放送大学北海道学習センター  
所長

山田 義裕 先生

研究分野：人文・社会/  
観光学/観光創造

主催

放送大学北海道学習センター

※本講演会は、会場で受講できない方を対象にZoomで配信いたします。

○お申込み・お問合せ：放送大学北海道学習センター  
広報担当（不動・佐久間）

○電話：011-736-6318